



学校だより

令和3年6月30日

横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka/>



ICT 機器を生かした学び

副校長 浅野 真弘

校舎建て替えに伴い、他校と少し異なるスケジュールで進んでいる ICT 環境の整備が、いよいよ始まるようとしています。GIGA スクール構想に基づき配当されたタブレット端末を、子どもたち一人一人が活用できるようにするための機器の導入や設定が、夏休み中に行われる予定です。

学校でタブレットを活用することで、子どもたちの学びにどんな変化が生まれるのでしょうか。今学校では、教職員同士で色々なアイデアを出し合い、授業の中でどのように取り入れるとより効果的に使うことができるのか検討を重ねています。

例えば・・・

- 理科や生活科で観察をして発見したことを写真に撮り、それを画面で相手に見せながら自分の意見を発表することで、自分が伝えたいことをより詳しく伝える。
- 社会科や総合的な学習の時間で、より深く調べたいことについて、web で検索して必要な情報を手に入れ、それを整理しながら自分の考えをまとめ、課題解決につなげる。
- 国語科や外国語の学習で、自分の音読やスピーチを録音し、客観的に聞き直しながらより工夫できることを見つける。
- 友達と協働して学習する中で、データを共有したり、学んだことを動画やスライドにまとめて表現したりする。

たくさん場面が考えられます。子どもたちが知りたいことをより深く学ぶこと、友達とのコミュニケーションツールとして活用して、みんなで学びを深めることなど、ICT 機器は、様々な学習の中で活用することができそうです。もちろん、現時点でも複数のタブレットやパソコンが学校には配置されていて、それらを使って学習を進めていく場面も見られます。しかし、数に限りがあることで、どうしても十分な時間使うことや必要なタイミングで使うことが難しくなってしまいます。そうした課題が、一人一台のタブレットが整い、子どもたちが使いたい場面でさっと手に取ることができるようになると、一気に解消することが期待されます。

このように、ICT 機器を今後活用していく学習が進んでいく中で、情報モラルについても取り上げていく必要があります。世界中に繋がるインターネットの活用が前提にあり、便利な反面、相手を傷つけてしまったり、不必要に情報を広めてしまったりする恐れもあります。学校では、情報モラルについて考えることを通して、子どもたちが情報について正しく判断し、上手に活用することができる力を育てていきます。こうした力の育成は、ご家庭との協力が不可欠です。お子さんが安心して情報機器を扱うことができるよう、折りに触れて話題にする機会を作るとしていただけたらと思います。

どんどん進化を重ね、少し前では想像もできなかったことが実現していく世の中です。そのような中で育ち、世の中を支える存在になっていく子どもたち。今の私たちが思う以上に、ICT 機器や情報を適切に扱う力は重要となっていくでしょう。小学校で学ぶ今の段階から、ICT 機器を効果的に活用し、思考を深め、より豊かな学びを進めていくことは、本当に大切なことだと思います。そうした学びが特別なものではなく、ごく自然な姿として子どもたちの学習に馴染むように、教職員も日々学び、支援をしていきたいと思っています。引き続き保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。